

茨城 全研ニュース #6

認知症の人と家族への援助をすすめる
第35回全国研究集会 in 茨城

公益社団法人 認知症の人と家族の会 茨城県支部
事務局／〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15-1
(牛久市保健センター隣)
TEL/FAX 029-828-8089
E-mail Alz2010ibaraki@yahoo.co.jp

今年の全国研究集会はつくば市での開催です。

今年6月に、つくば市国際会議場でG20の「貿易・デジタル経済大臣会合」が開催されました(写真:茨城県広報誌「ひばり」より)。今年の全国研究集会も同じ会場で行われます。皆様に気持ち良くご参加頂くために、開催地のつくば市、茨城県、地域の諸団体に多大な協力を頂きつつ、準備委員会のスタッフ一同、日々努力致しております。研究集会のコンテンツも、事例発表の選定も含め、微調整に入っています。今後は会議場内のホール内外のサービスやレイアウトを詰めていくことになります。

そこで今回は、全研開催地となるつくば市の五十嵐立青市長に、地域における「繋ぐ」のあり方や認知症行政などについてお話を伺いました。



茨城県広報誌「ひばり」より

つくば国際会議場

・地域内での「繋ぐ」について

認知症による行方不明などを想定した「認知症声掛け模擬訓練」を小学校区単位で行っていますが、住民同士が認知症の人を見たら積極的に関わっていくという雰囲気を地域に根付かせることが大切でしょう。

これまで「認知症サポーター養成講座」も数多く行い、現在市内では一万人を超える認知症サポーターがいますが、更にそこからのステップアップ講座も含めて、これからも繰り返しやっていかなければならないと思います。

・認知症への関わりを身近に感じてもらうには？

現在つくば市では毎月4か所で「オレンジカフェ」という名称で、家族の会などの協力のもと認知症カフェを開いています。このような、その気で訪れる形のカフェの他に、自動車学校や交流センター等もっと気楽に立ち寄れる形のカフェも試みていて、人気の高い所はその後継続的に開いています。また、ショッピングモールなども地域貢献に積極的な姿勢を示してくれているので、これから更に広げていこうと考えています。

・MCIをはじめ、初期認知症の方々の就労支援について

認知症の方々の支援体制を整えてはいるのですが、MCIの問い合わせはまだそれほど多くはありません。まだあまりよく知れ渡っていないのかもしれないかもしれません。今後の課題です。



・今、高齢者の「足」が問題になっていますが？

つくば市では、免許返納された方の移動手段として「つくタク」「つくバス」を運行しています。コミュニティバスとしては、現在国内で利用者数が多い（百万人以上）とされています。とは言え、やはり公共交通だけでは限界があると思っております。地域のNPO団体による「福祉有償運送」を支援したりしています。自由度が高いため、結構利用されているようです。

また、つくば市の特徴でもある科学技術を生かして、移動その他の諸問題を改善していくことも目指しています。例えば、目的地まで自動で連れて行ってくれる電動車椅子の実証実験を、研究所や企業の協力を得て行っています。

今回、全国研究集会がつくば市で開催されることは非常にありがたいことであり、これを契機として団体と行政が一緒になって支援を進めていければいいと思っています。